



ニュースレター

Contents

1. これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について	1
2. CAT2020 適用開始日について	2
3. CAT2020 対応マニュアル類の公開	3
4. CAT2020 説明会開催報告	4
(NACSIS-CAT)	
5. NACSIS-CAT/ILL Q&A DB の利用について	4
6. 申請に関する Q&A について	5
7. 2018 年度 NACSIS-CAT/ILL 業務分析表の公開	5
(NACSIS-ILL)	
8. 2020 年度の ILL 文献複写等料金相殺サービスの運営費について	6
9. ILL 文献複写等料金相殺サービス Q&A について	6
10. ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告 (2018 年度第 4 四半期～ 2019 年度第 3 四半期)	7
(教育研修事業)	
11. 2019 年度目録システム書誌作成研修 実施報告	9
12. NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材の公開	10

No.48 2020.5.8

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

学術コンテンツ課

NACSIS-CAT担当……Tel:03-4212-2310 Fax:03-4212-2375

NACSIS-ILL担当……Tel:03-4212-2320 Fax: 同上

教育研修事業担当……Tel:03-4212-2177 Fax: 03-4212-2370

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について

これからの学術情報システム構築検討委員会では、「これからの学術情報システムの在り方について (2019)」(2019年2月15日付公開、以下「在り方 (2019)」という。)で挙げた課題に取り組むため、システムモデル検討作業部会及びシステムワークフロー検討作業部会を新たに設置し、「在り方 (2019)」で実現の目途とした2022年に向けて、課題を検討しました。また、大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) と協力して、電子情報資源データ共有の実証実験を開始したほか、国立大学図書館協会学術情報システム委員会からの依頼を受け、国立大学図書館を対象とした「図書館システム及び関連システムに関するアンケート」を同委員会と共同実施しました。

システムモデル検討作業部会では、新たな図書館システム・ネットワークの実現に向け、「大学図書館等と国立情報学研究所が共有する認識」を整理し、図書館業務で現在利用が不可欠であるNACSIS-CAT/ILLを中心とした目録業務の課題や将来予想される姿及び図書館業務モデル再構築の方向性を確認しました。今後、上記の整理・確認を踏まえ、新たな図書館システム・ネットワーク運営モデルで必要となる組織、運営制度が備える機能・役割、財政モデル等を継続して検討します。

システムワークフロー検討作業部会では、中央システムの機能を検討する電子リソース対応班、メタデータ流通の高度化検討班及び統合的発見環境検討班のほか、ローカルシステムの機能を検討する図書館システム整備班での活動を行いました。電子リソース対応班と図書館システム整備班は、JUSTICE 提案製品におけるタイトルリストとライセンスのデータ共有に関し、システム運用手順の確認・調整を行うとともに、出版社から提出を求めるライセンスメタデータ項目の確認・調整を行いました。メタデータ流通の高度化検討班では、電子ブックのメタデータ形式の方向性、デジタルアーカイブの発見可能性の向上のため国立国会図書館等との連携の必要性、和図書書誌への日本目録規則2018年版 (NCR2018) への対応について検討を行いました。統合的発見環境検討班では、統合的発見環境のビジョンを確認するとともに、早稲田大学及び慶應義塾大学図書館のシステム共同運用や海外コンソーシアムの事例を調査するとともに、NACSIS-ILLの軽量化・合理化の検討を開始しました。

このほか、当委員会では、ERDB-JP 運用及びCAT2020 運用支援も行っています。ERDB-JP 運用ではJAIRO Cloud 申請からのERDB-JP オプトインの運用を開始し、CAT2020 運用支援では運用開始に向け、RELATION 同定条件やPREBOOK 登録条件の調整等のシステム準備とともに、様々なイベント・研修会等での事前周知及びCAT2020 に対応したマニュアルやオンライン教材等の整備を進めました。

2019年度の当委員会の資料及び議事要旨は、以下のURLで公開しています。

URL : <https://www.nii.ac.jp/content/korekara/>

(これからの学術情報システム構築検討委員会 事務局)

CAT2020 適用開始日について

2020年5月1日付で参加館の皆様にお知らせしましたとおり、2020年以降の目録所在情報システム（CAT2020）を、2020年8月3日（月）から適用します。

CAT2020での主な変更点は、以下のとおりです。

1. 書誌作成単位の変更
図書書誌の作成単位を、単行書誌単位から出版物理単位に変更します。
2. レコード調整の廃止
レコード調整を廃止し、修正の可否については、コーディングマニュアル21章の図書書誌修正事項一覧に従い、修正を行うか、新規書誌を作成するかを判断してください。
3. 並立書誌
上記2によって作成された、同じ資料に対する複数の書誌の存在を許容し、並立書誌とします。
4. RELATON データセットの導入
上記3の並立書誌のうち、一定の条件下にある書誌同士について、ILLでの利便性を図るためRELATIONデータセットに登録します。
5. PREBOOK データセットの導入
MARCのデータを系統的に事前に登録し、そのまま所蔵登録ができるPREBOOKデータセットを導入します。
6. 書誌IDのプレフィックスの変更
BOOKデータセットならびにPREBOOKデータセットに新規に登録される書誌データのIDのプレフィックスを現行の「BB」から「BC」に変更します。

変更点の詳細は、「CAT2020クライアントのためのガイドライン」もご参照ください。

URL : <https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/system/guideline/guideline-cat2020.html>

なお、各機関の図書館システムがCAT2020の新機能に対応していない場合でも、これまでNACSIS-CAT/ILLを利用して実施してきた業務は可能です。

CAT2020についての詳細は以下に掲載しておりますので、ご参照ください。

URL : <https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/cat2020/>

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

CAT2020 対応マニュアル類の公開

2020年3月25日(水)に、「目録情報の基準(第5版)」及び「目録システムコーディングマニュアル(CAT2020対応版)」を正式に公開しました。

URL : <https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/cat2020/#2>

マニュアル(案)からの主な変更点は以下のとおりです。

- ・ DNIMARC の PREBOOK への投入及びシステム追記の取りやめ
- ・ JPMARC、TRCMARC 以外の MARC からの CW システム追記の取りやめ
- ・ コーディングマニュアル 21 章について
 - フィールド名の項目の整理
 - 「明らかな誤りである場合」の対応について追記
 - フィールド IDENT について追加
 - 不足していた修正事項(例示・注意事項)についての追記(主に削除についての説明)

なお、「目録情報の基準(第5版)」及び「目録システムコーディングマニュアル(CAT2020対応版)」について、CAT2020 運用開始(2020年8月3日)以降は、公開 URL が変更となります。

また、「目録システム利用マニュアル」については2020年5月中、各種取り扱いのうち、改訂が必要なものについては、改訂次第、順次公開する予定です。

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

CAT2020 説明会開催報告

2019年9月に、CAT2020説明会を、全国3カ所で開催しました。
開催日時、会場及び参加者数は、以下のとおりです。

会場	日時	場所	参加者数
九州会場	2019年9月20日(金)	九州大学中央図書館4階きゅうとコモンズ	88名
東北会場	2019年9月24日(火)	東北大学農学部青葉山コモンズ大講義室	83名
京都会場	2019年9月27日(金)	京都大学国際科学イノベーション棟ホール	261名

なお、東北会場では、合わせてウェブ配信を実施しました。

当日の資料及び東北会場での動画を、以下のURLで公開しています。

URL : [https:// www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/cat2020/event.html#8](https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/cat2020/event.html#8)

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

NACSIS-CAT Q&A DB の利用について

これまで NACSIS-CAT/ILL Q&A DB の「目録所在情報サービスに関する質問の受付」では、NACSIS-CAT/ILL 全般にわたるご質問をお寄せいただいておりますが、今後は、NACSIS-CAT (目録業務) に関するご質問をお寄せください。

NACSIS-ILL に関するお問い合わせ、参加館申請に関するお問い合わせなどは、各担当までメールでお寄せください。

NACSIS-CAT システム全般、利用申請、個別版提供等

Email アドレス : catadm@nii.ac.jp

NACSIS-ILL 全般、ILL 料金相殺について

Email アドレス : illadm@nii.ac.jp

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

申請に関する Q&A について

NACSIS-CAT/ILL の申請（新規、変更、取消、オプションサービス等）に関する Q&A を以下の URL で公開しています。

<https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/join/shinseiqanda.html>

申請の際には、上記 URL をご確認の上、申請をお願いします。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国立情報学研究所では、本ニュースレター発行時、在宅勤務を含めた業務体制を実施いたしております。期間中、電話、FAX での受付を停止させていただきます。メールでのお問い合わせは通常どおり受け付けております。

以下のサービスにつきましては、通常より時間を要することもあるかと思いますが、現在の状況を踏まえてご理解くださるようお願い申し上げます。

目録所在情報サービス利用申請（新規／変更／取消）
ILL 文献複写等料金相殺サービス（新規／変更／取消）
個別版サービス

詳細につきましては、以下の URL をご参照ください。

URL : <https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/news/ill/>

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

2018 年度 NACSIS-CAT/ILL 業務分析表の公開

2019 年 9 月 27 日付で、2018 年度分の NACSIS-CAT/ILL 業務分析表を公開しました。

URL : <https://catill-q.nii.ac.jp/>

データの入手方法及びデータの見方については、以下の URL をご参照ください。

URL : <https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/bunseki2015.html>

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

2020年度のILL文献複写等料金相殺サービスの運営費について

2019年10月の消費税増税に伴い、ILL文献複写等料金相殺サービス年間運営費の改訂を行いました。

2020年度の運営費は、以下のとおりです。

利用の開始月	運営費	内消費税額
4月から6月まで	6,600円	600円
7月から9月まで	4,950円	450円
10月から12月まで	3,300円	300円
翌年1月から3月まで	1,650円	150円

URL : <https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/2020/02/2020.html>

(NACSIS-ILL 担当)

ILL文献複写等料金相殺サービスについて

ILL文献複写等料金相殺サービスについては、以下のURLでQ&Aを公開しています。特に利用申請、変更等については、詳細に説明しておりますので、料金相殺サービス参加機関におかれましては、必ずご一読をお願いいたします。

URL : <https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infoill/offset/qanda.html>

(NACSIS-ILL 担当)

ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告

(2018 年度第 4 四半期～2019 年度第 3 四半期)

ILL 文献複写等料金相殺サービスの処理状況は、以下のとおりです。

■ 2018 年度第 4 四半期 (2019 年 1 月～3 月)

- ・利用機関数：951
- ・処理対象 ILL レコード件数：95,632 (NACSIS-ILL 総レコード件数：103,960)

		対債務機関	対債権機関
機関数		539	412*
NII の請求額/支払額		11,660,089	▲ 11,600,061*
内 訳	相殺金額	11,663,680	▲ 11,663,680
	運営費 (税込)	1,620	0
	前期債権繰越額	▲ 5,400	▲ 5,420
	振込手数料	189	69,039

* 対債権機関の機関数、NII の支払額には次期繰越分 (4 機関、409 円) が含まれています。

■ 2019 年度第 1 四半期 (2019 年 4 月～6 月)

- ・利用機関数：960
- ・処理対象 ILL レコード件数：124,073 (NACSIS-ILL 総レコード件数：134,261)

		対債務機関	対債権機関
機関数		561	399 *
NII の請求額/支払額		18,492,028	▲ 12,233,432*
内 訳	相殺金額	14,863,343	▲ 14,863,343
	運営費 (税込)	3,628,800	2,585,520
	前期債権繰越額	▲ 115	▲ 294
	振込手数料	0	44,685

* 対債権機関の機関数、NII の支払額には次期繰越分 (15 機関、8,532 円) が含まれています。

■ 2019 年度第 2 四半期 (2019 年 7 月～9 月)

- ・利用機関数：961
- ・処理対象 ILL レコード件数：118,963 (NACSIS-ILL 総レコード件数：129,060)

		対債務機関	対債権機関
機関数		562	399*
NIIの請求額/支払額		14,316,303	▲ 14,245,731*
内 訳	相殺金額	14,314,939	▲ 14,314,939
	運営費(税込)	4,860	9,720
	前期債権繰越額	▲ 3,496	▲ 5,036
	振込手数料	0	64,524

* 対債権機関の機関数,NIIの支払額には次期繰越分(23機関,10,276円)が含まれています。

■ 2019年度第3四半期(2019年10月~12月)

- ・利用機関数: 962
- ・処理対象 ILL レコード件数: 121,625 (NACSIS-ILL 総レコード件数: 132,709)

		対債務機関	対債権機関
機関数		552	410*
NIIの請求額/支払額		14,937,983	▲ 14,878,379*
内 訳	相殺金額	14,942,935	▲ 14,942,935
	運営費(税込)	0	3,300
	前期債権繰越額	▲ 4,952	▲ 5,324
	振込手数料	0	66,580

* 対債権機関の機関数,NIIの支払額には次期繰越分(25機関,14,065円)が含まれています。

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

2019年度目録システム書誌作成研修 実施報告

2019年12月5日(木)～12月6日(金)に、国立情報学研究所において目録システム書誌作成研修を開催しました。

本研修は、目録業務担当者が多様な書誌事例について理解を深め、総合目録データベースの円滑な運用に必要な知識・技能を身につけることを目的として、2015年度より開催しています。

研修課題は、「NACSIS-CAT/ILL Q&ADB」にお問い合わせいただいた質問等を踏まえ、書誌作成研修企画ワーキング・グループが作成した実践的な内容としました。研修では、受講者各自が作成した解答案をもとにグループでディスカッションを行い、グループごとの解答を発表するという流れで進みました。また補講では、国文学研究資料館より講師をお招きして、和古書の目録を取る際の手順や注意点、参考情報を御講義いただきました。

カリキュラム等の詳細は、教育研修事業ウェブサイトで公開しています。なお、研修課題等は、一部について今後の研修でも使用する予定のため、公開しておりません。

URL : https://hrd.nii.ac.jp/cat_biblio

■ 講義内容

12月5日	開講式、研修主旨説明
	グループ編成、討議、使用可能なツール等の説明 各課題のポイント(出題意図)説明等
	グループ演習/発表準備
	グループ発表/全体討議
12月6日	「国文学研究資料館における和古書の目録作成について」*資料公開あり 講師：小島 歩(人間文化研究機構 国文学研究資料館)
	グループ演習/発表準備
	グループ発表/全体討議
	閉講式

■ 書誌作成研修企画ワーキング・グループ

モデレーター：藤井 眞樹(国立情報学研究所)

ファシリテーター：

中村 健(大阪市立大学)、野原 要子(神戸大学)、羽賀 真記子(九州大学)、
矢崎 美香(九州女子大学)

(教育研修事業担当)

NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材の公開

NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材の「CAT 編:図書コース対応」補講として、「CAT2020 とは ー図書目録が変わる・ここがポイントー」を公開しました。

また、現行のセルフラーニング教材についても、HTML5化を行い、CAT2020 による変更点がわかるようにアイコンを追加する改修を行いました。

URL : <https://hrd.nii.ac.jp/product/cat/slcat>

(教育研修事業担当)